

# 2015年3月期 第3四半期連結業績概要 2015年3月期 通期見通しについて

執行役員  
桃塚 高和

- ◆売上高は、第3四半期、9ヶ月累計とも過去最高を更新。第3四半期は、スマートフォンなどを中心にICT市場向けの販売が好調で、受動部品、磁気応用、フィルム応用全てのセグメントで売上が過去最高を更新。
- ◆営業利益は、9ヶ月累計で前年同期比52%増加の531億円。主要3セグメントにおいてバランスの取れた収益構造が定着。
- ◆通期業績予想を上方修正。期末配当を10円増配の予定。
- ◆磁石事業において、金属磁石関連設備を中心に減損を実施。電源事業において、のれんの減損を実施。

# 2015年3月期 第3四半期（四半期）実績



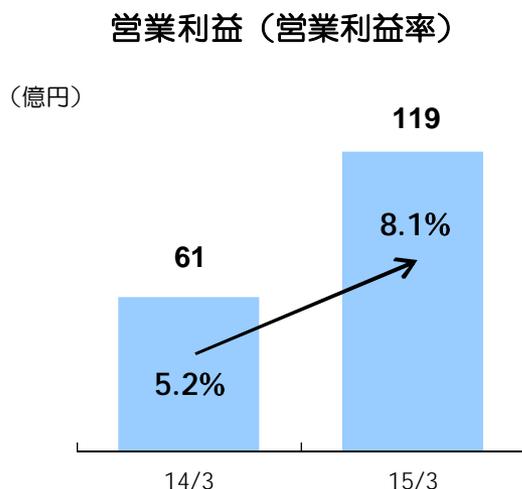
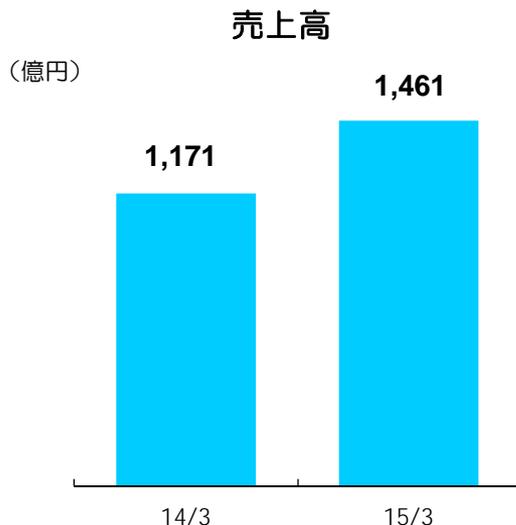
連結売上高は3,004億円、営業利益は252億円

(億円)	2014年3月期 第3四半期実績	2015年3月期 第3四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,582	3,004	422	16.3
営業利益	179	252	73	40.8
営業利益率	6.9%	8.4%	+1.5pt	-
継続事業税引前利益	176	222	46	26.1
継続事業純利益	114	173	59	51.8
非継続事業純利益	△ 13	-	-	-
非支配持分利益	8	9	1	12.5
当期純利益	93	164	71	76.3
1株当たり利益 (円)	73.99	130.24	-	-
為替	対ドルレート (円)	100.38	114.25	13.8%の円安
	対ユーロレート (円)	136.56	142.79	4.6%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約296億円の増収 営業利益：約67億円の増益			

(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

# 第3四半期各事業の状況（受動部品事業）

売上高 1,461億円（前年同期比24.8%増）  
営業利益 119億円（前年同期比95.1%増）



## ●セラミックコンデンサ

- ・堅調な自動車市場を中心に前年同期より売上増
- ・生産性改善効果により利益率も改善

## ●インダクティブデバイス

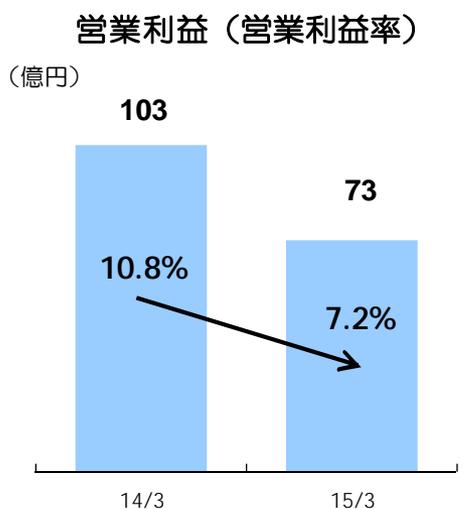
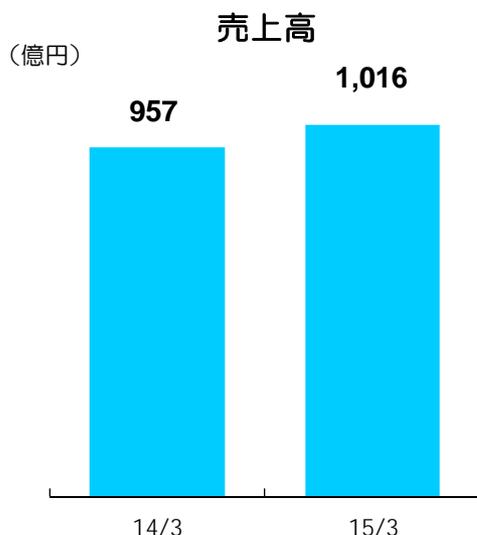
- ・北米及び中国スマホ需要を中心としたICT市場や堅調な自動車市場向けで売上増
- ・操業度アップによる収益拡大

## ●高周波部品

- ・主に北米及び中国スマホ向けディスクリート製品の販売が堅調
- ・生産性改善効果や品種構成の良化により収益は前年同期より大幅に改善

## ●圧電材料部品

- ・カメラモジュール用VCMや自動車向け部品の販売を中心に前年同期比増収増益



売上高 1,016億円（前年同期比6.2%増）  
 営業利益 73億円（前年同期比29.1%減）

## ●記録デバイス（HDDヘッド）

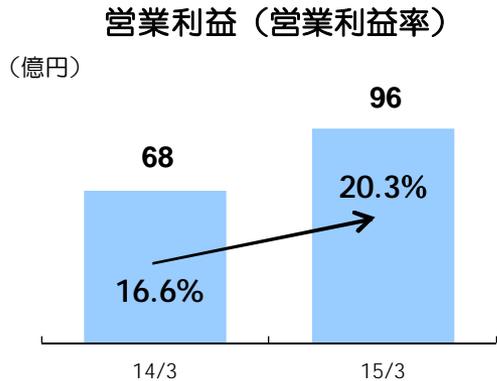
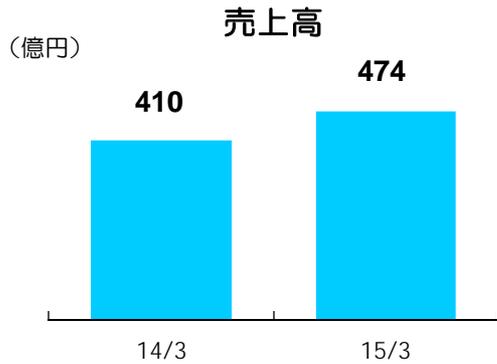
- ・出荷数量は前年同期より微増
- ・生産性改善効果やデータセンタ向け販売が伸び始めたことによる品種構成の良化により前年同期より増益

## ●マグネット

- ・自動車、ICT（情報機器）市場向け販売が減少
- ・金属磁石関連設備の減損を実施

## ●電源

- ・半導体製造装置、FA機器、計測機器等の産業機器市場向け売上は引き続き堅調に推移
- ・のれんの減損を実施



売上高 474億円（前年同期比15.6%増）  
 営業利益 96億円（前年同期比41.2%増）

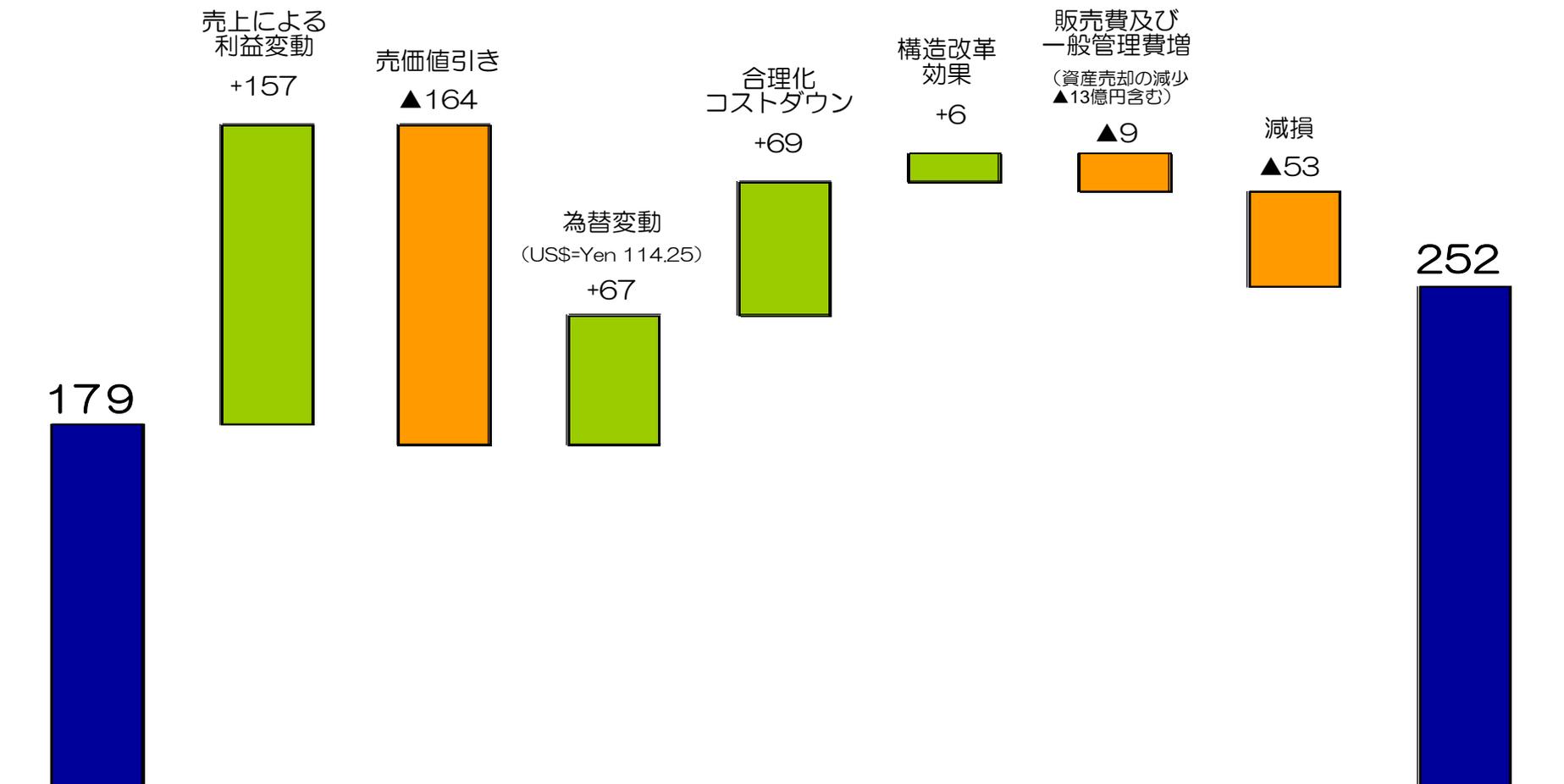
## ● エナジーデバイス（二次電池）

- 主要顧客の新型スマートフォン向け販売や中国市場を中心とした顧客ポートフォリオの拡大により前年同期比増収増益。

# 第3四半期営業利益増減分析

(単位：億円)

営業利益 + 73億円



2014年3月期  
第3四半期

2015年3月期  
第3四半期

※非継続事業（データテープ事業）除外後の実績値

# 2015年3月期第3四半期 連結業績概要



(億円)		2014年3月期 第3四半期 (A)	2015年3月期 第2四半期 (B)	2015年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	347	373	375	28	8.1	2	0.5
	インダクティブデバイス	349	388	403	54	15.5	15	3.9
	その他受動部品	475	562	682	207	43.6	120	21.4
	受動部品合計	1,171	1,324	1,461	290	24.8	137	10.3
	記録デバイス	690	637	751	61	8.8	114	17.9
	その他磁気応用製品	268	267	265	△ 3	△ 1.1	△ 2	△ 0.7
	磁気応用製品合計	957	904	1,016	59	6.2	112	12.4
	フィルム応用製品合計	410	372	474	64	15.6	102	27.4
	その他	43	48	53	10	23.3	5	10.4
	合計	2,582	2,648	3,004	422	16.3	356	13.4
営業利益	受動部品	61	98	119	58	95.1	21	21.4
	磁気応用製品	103	82	73	△ 30	△ 29.1	△ 9	△ 11.0
	フィルム応用製品	68	52	96	28	41.2	44	84.6
	その他	△ 8	1	1	9	-	0	0.0
	小計	223	233	290	67	30.0	57	24.5
	全社および消去	△ 44	△ 50	△ 38	6	-	12	-
	合計	179	183	252	73	40.8	69	37.7
営業利益率		6.9%	6.9%	8.4%	+1.5pt	-	+1.5pt	-
為替	対ドルレート (円)	100.38	103.86	114.25				
	対ユーロレート (円)	136.56	137.77	142.79				

※非継続事業（データテープ事業）除外後の実績値

# 2015年3月期 第3四半期累計（9ヶ月）実績

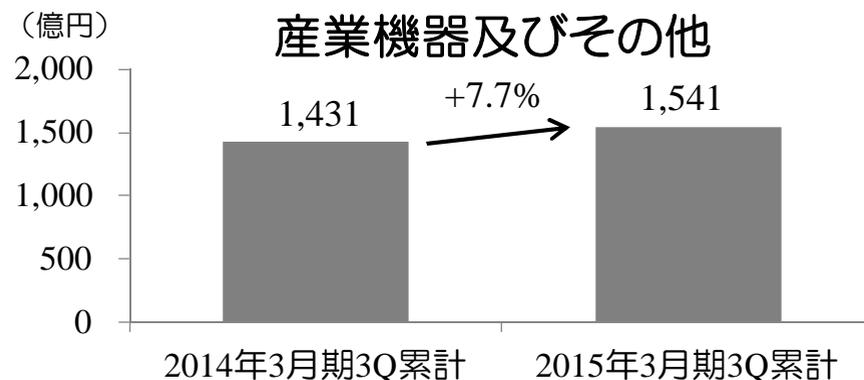
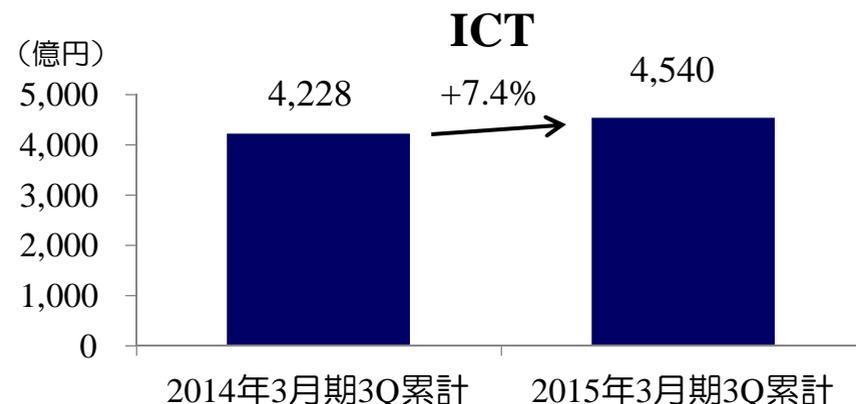
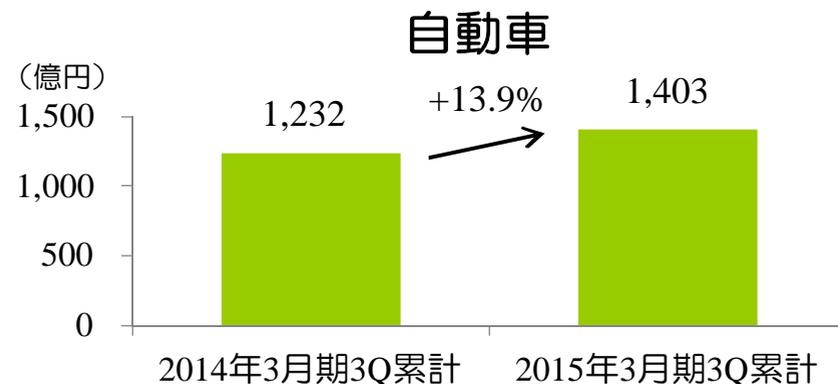
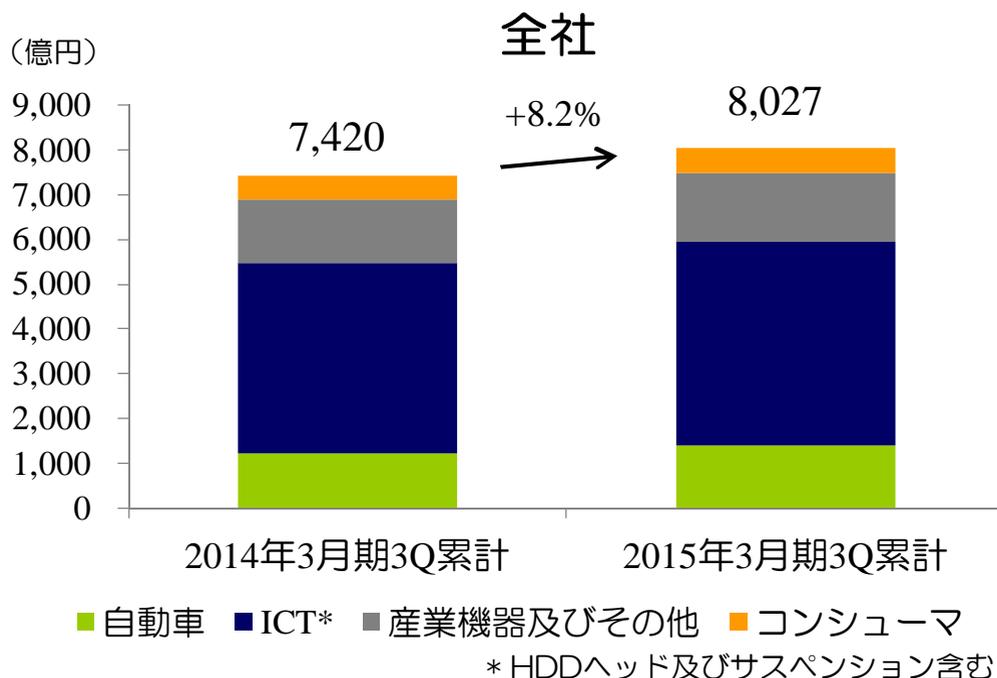


連結売上高は8,027億円、営業利益は531億円

	(億円)	2014年3月期 第3四半期累計実績	2015年3月期 第3四半期累計実績	対前年同期比	
				増減	増減率(%)
売上高		7,420	8,027	607	8.2
営業利益		350	531	181	51.7
営業利益率		4.7%	6.6%	+1.9pt	-
継続事業税引前利益		357	496	139	38.9
継続事業純利益		222	369	147	66.2
非継続事業純利益		△ 51	-	-	-
非支配持分利益		15	23	8	53.3
当期純利益		157	345	188	119.7
1株当たり利益 (円)		124.90	274.43	-	-
為替	対ドルレート (円)	99.38	106.78	7.4%の円安	
	対ユーロレート (円)	132.22	140.24	6.1%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約465億円の増収 営業利益：約99億円の増益			

(注) 2014年3月期に非継続となったデータテープ事業及びブルーレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

# 重点分野別の売上（第3四半期累計）



自動車：

受動部品の売上拡大

ICT（情報通信技術）：

受動部品及び二次電池の売上拡大

産業機器及びその他：

産業機器向け電源の売上拡大

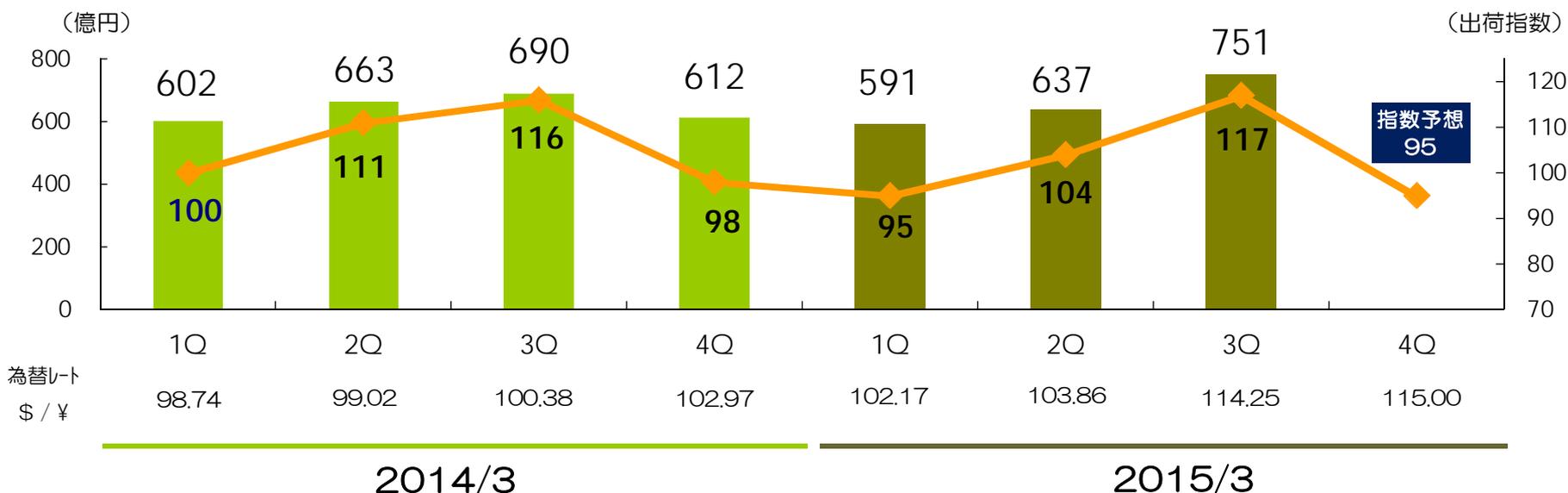
## ◆2015年3月期のHDD（ハードディスク）市場 ※当社推定

- 約5.35億台（4月末時点）
- 約5.60億台（現在推定）

## ◆当社のHDDヘッド出荷指数推移

■ 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド及びHDD用サスペンションを含む）

◆ ヘッド（HGA）数量出荷指数（右軸、2014年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



# 2015年3月期 連結業績予想



前回修正値（10月31日）から上方修正

(億円)	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 業績予想 (期初公表値)	2015年3月期 業績予想 (10月末修正版)	2015年3月期 業績予想 (今回修正版)	修正業績予想対前年同期比		
					増減	増減率(%)	
売上高	9,845	10,500	10,500	10,800	955	9.7%	
営業利益	366	570	630	700	334	91.3%	
営業利益率	3.7%	5.4%	6.0%	6.5%	+2.8pt	-	
継続事業税引前利益	398	560	620	680	282	70.9%	
当期純利益	163	340	370	420	257	157.7%	
1株当たり利益(円)	129.47	270.23	293.98	333.51	-	-	
為替	対ドルレート	100円26銭	100円	下期 105円	4Q 115円	-	-
	対ユーロレート	134円42銭	135円	下期 135円	4Q 135円	-	-

通期業績予想の上方修正に伴い、期末配当を10円増配の予定

## ◆ 1株当たり配当金見通し

	前回 (10月31日)	今回修正	
中間配当金	40円	40円	
期末配当金	40円	50円	(見通し)
年間配当金	80円	90円	(見通し)

(億円)	2014年 3月末	2014年 9月末	2014年 12月末	対9月末比 増減
総資産	12,396	13,123	14,258	1,135
負債合計	5,873	6,202	6,618	416
株主資本	6,353	6,737	7,458	721
(うち包括利益)	△871	△519	162	681
株主資本比率	51.3%	51.3%	52.3%	+1.0pt

現預金・短期投資・有価証券(*1)	2,595	2,583	2,838	255
有利子負債(*2)	2,670	2,673	2,857	184
ネット・キャッシュ(*3)	△75	△90	△19	71

\*1: 現金及び現金同等物 + 短期投資 + 有価証券

\*2: 短期借入債務 + 一年以内返済予定の長期借入債務 + 長期借入債務

\*3: 現預金・短期投資・有価証券 - 有利子負債

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2015/3q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/3q_1.htm)